

## 平成 24 年度 景観啓発事業の実績について

### 1. 「わがまちあかし十景」の P R

「わがまちあかし景観 50 選」の中から市民投票により選ばれたものである「わがまちあかし十景」を明石を代表する景観として市内外に広く P R することで景観への意識啓発を図ることを目的として実施している。

平成 24 年	11 月 ~ 平成 25 年 1 月	<p>絵画コンクール実施</p> <p>[絵画]募集対象：住所、年齢は不問（市内外誰でも可能）</p> <p>結 果：[一般の部] 応募数 52 点から受賞作品 20 点を選定、表彰</p> <p>[中学生以下の部] 応募数 16 点から受賞作品 10 点を選定、表彰</p> <p>* 受賞作品については、平成 25 年 3 月 19 日～3 月 25 日まで、市役所 2 回ロビーで展示</p>
	11 月	<p>写生大会実施</p> <p>絵画コンクールの連動企画として、コンクール応募のきっかけとなるよう、「わがまちあかし十景」の一つ「住吉公園」で、彫画家の伊藤太一氏を特別ゲストに招き実施</p> <p>募集対象：住所、年齢は不問（市内外誰でも可能）</p> <p>結 果：28 名</p> <p>44 名参加予定であったが、雨天延期により減少</p>
	12 月	<p>平成 25 年版めくり見開き A3 サイズカレンダー作成 市民配布 （十景のスタ-写真及び H23 年度絵画・写真コンクール受賞作品使用）</p>

### 2 . 出前講座

市民の景観への理解と意識の向上を目的に実施している。

平成 24 年	5 月	「明石の景観資源」について、あかねが丘学園（3 年生共通コース）で講義形式で実施
	6 月	「明石の景観資源を活用しよう」について、あかねが丘学園（2 年生ふるさとコミュニティコース）でグループ討議形式で実施
平成 25 年	1 月	「明石の景観全般について」ワコーレハート明舞で講義形式で実施

### 3. 「景観形成重要建築物所有者交流会」

重要建築物所有者に重要建築物保存の重要性を認識していただくことを目的として、意見交換会を行なっている。

平成 25 年 3 月 大塩邸

都市景観形成重要建築物として初めて活用されている事例について、当該施設の活用により地域研究を行っている神戸学院大学地域研究センターに当該施設における活用及び取り組みについて紹介、併せて国又は県の文化財として登録することで景観と文化財の両面から保全を図っていくことの必要性から、市文化財担当職員から文化財制度について説明（所有者 5 名出席）

### 4. 「中心市街地活性化区域内における都市景観形成地区検討の取り組み」

平成 22 年度に国から認定を受けた明石市中心市街地の活性化基本計画で位置づけられている事業のひとつとして、新たな都市景観形成地区の指定を検討するため取り組んでいる。

商業活性化に向けた取り組みと連動することにより景観形成を通じたにぎわいづくりを目標とし、平成 27 年度に都市景観形成地区の指定を目指している。

平成 24 年	11 月	明石まちなかにぎわいワークショップ（参加者 16 名、商業者）
	12 月	明石まちなかにぎわいワークショップ（参加者 14 名、商業者）
平成 25 年	3 月 6 日 ～ 3 月 10 日	商店街の「通りのイメージを共有する」第 1 歩として、本町通りで社会実験を実施（アーケード部分の布かざり、広告旗掲出） 社会実験期間中、商業者及び来街者にアンケート実施（商業者 17 票、来街者 123 票回収）

### 5. 「大久保町八木地区における地区計画及び景観形成に係る取り組み」

明石市都市景観形成基本計画で景観まちづくりを取り組むべき推進地区に位置づけられている八木地区において、マンション建設問題をきっかけとして、地区計画の策定を目的とした取り組みが地元主体で行われている機に乗じて、景観形成に係る取り組みも同時に進めている。

平成 24 年	5 月	まちづくりニュース発行（平成 23 年度の活動報告）
	12 月	アンケート調査実施（地区内住民全戸、地区外権利者）
平成 25 年	1 月	

\* 毎月一回、八木地区計画委員会実施